

ロシア軍によるウクライナ侵攻に対し断固として反対する決議

ロシア軍によるウクライナへの軍事侵攻は、国際法及び国連憲章に違反しており、決して許されるものではない。

プーチン大統領は、核兵器抑止力部隊を厳戒態勢に移行するよう軍司令部に命令したと報じられており、核兵器使用の危険性が刻一刻と高まっている。

御坊市議会は、核兵器廃絶平和都市宣言決議（案）を昭和61年に全会一致で議決しており、地方議会からも、核兵器使用の恐れがあるロシア軍の侵攻に対し、断固として反対の意を表するとともに即時かつ無条件での完全撤退を強く求める。

以上、決議する。

令和4年3月7日

御 坊 市 議 会